筑波キャンパスでのキャリア支援レポート '25

筑波事務所は、筑波キャンパスの中央部にある大学会館内にあり、学生に最も近い場所で活動しています。茗渓会が筑波キャンパスを中心に継続的に行っているキャリア支援活動は、現在以下の5つです。

- ① OB·OG キャリアカフェ(年2回)
- ② 就活/キャリアについてのぶっちゃけ質問会・相談会(月1回)
- ③ OB·OG 訪問(常時予約受付)
- ④ 個別キャリア相談(常時予約受付)
- ⑤ 対面面接練習(常時予約受付)

今回は、これらの活動とは別に、7月に臨時開催された「OB・OG キャリアカフェ@社会学類」について 現場レポートをお届けします。

OB・OG キャリアカフェ@社会学類 2025年7月22日(火)開催

●企画の背景

2019 年から毎年 2 回実施している恒例企画「OB・OG キャリアカフェ」。その<u>第13回目</u>の開催まで 3週間と迫った6月上旬の事、社会・国際学群 社会学類の学生(クラス代表者会議 議長)から以下のメールが届きました。

「…弊会では『進学就職相談会(春)』の開催を計画しており、貴会のご協力を得ることができないかと考え、ご連絡差し上げました。従来、弊会では冬季にのみ『進学就職相談会』を実施してまいりました。しかし、近年は夏にインターンシップへ参加する学生が増加しており、事前に業界理解や進路選択のためのガイダンスの場を設ける必要性を強く感じております。そこで、大学のヒューマンエンパワーメント推進局とも連携されている茗渓会様のお力添えを賜りたく、ぜひご協力をお願いできればと存じます…」これを受け、早速、該当学生との打ち合わせを実施し、夏休み前に社会学類生のみを対象とした「OB・OG キャリアカフェ@社会学類」を開催することが決定しました。前述のように、この時には「第13回OB・OG キャリアカフェ」の開催準備中でしたが、さらにその1カ月後に本企画を開催すべく、翌日から2つのイベントの開催準備に入りました。

同時並行で準備を進めた2つのイベントの比較

名 称	第13回	OB・OG キャリアカフェ	
11 10	OB・OG キャリアカフェ	@社会学類	
開催日時	2025年6月25日(水)	2025年7月22日(火)	
刑匪口吋	15:30~19:00	18:30~20:30	
開催場所	第二エリア大食堂	共同利用棟 A(教室)	
主催	一般社団法人 茗渓会	筑波大学 社会·国際学群	
		社会学類 クラス代表者会議	
共 催	筑波大学 ヒューマン	 	
八 准	エンパワーメント推進局	放性图况人 石灰云	
対象学生	全学群·大学院生	社会学類生	
参加卒業生	24名	5名	
笠 却力态	交流会(卒業生2名/組)	パネルディスカッション	
第一部内容	30 分×4 回	30分	
第二部内容	懇親会	交流会(卒業生1名/組)	
步—叫 约 台	60分	25 分×3 回	
月1/光工公台:	対 面	対 面/オンライン	
開催形態	刈山	(オンラインは第一部のみ)	
参加学生	<i>11 ₽</i>	29名	
(実数)	41名	(オンライン 6 名含む)	
参加学生	104 🗸	62.4	
(延べ数)	104名	62名	
学生一人が話を	5.1名	2.7名	
聴いた卒業生	(平均値)	(平均値)	

●企画のポイント

・これまでのキャリア支援イベントは、大学(ヒューマンエンパワーメント推進局)側と協議の上、茗渓会が主催元となり開催してきました。今回は、初めて学生側が主催元になり、茗渓会側は共催という位置付けとしました。具体的には、企画案作成、卒業生募集および当日の運営を茗渓会が担当し、学生への広報、開催場所の確保、会場作りおよび当日の受付等を学生が担当しました。また、開催にあたっては学生だけではなく、学類長(明石純一先生)をはじめ、社会学類の教職員の方々のご支援・ご協力を得ながら準備を進めました。

・「これから夏休みに入るまでは、期末試験も含めて、授業が忙しい」という社会学類生の意見を踏まえ、 開催時間は、6限授業の終了後の18時半からの開始と決定しました。参加する卒業生も同じく社会学類 卒であることに加え、平日の夕刻に筑波大学に来て協力をしてもらえることを条件に急きょ、募集を実 施し、以下の5名に決定しました。

参加卒業生(5名)

企業·団体名	職 種	卒業年
日本経済新聞社	編集、経営	1994
(日経BP社へ出向)		
茨城県庁	人事	2010
コニカミノルタ株式会社	経理	2023
全日本空輸株式会社	運航管理	2003
(ANA)		
株式会社 電通 PR	コンサルタント	2014
コンサルティング		

- ・「夏のインターンシップを企業側がどのように見ているか等の本音のところを聞いてみたい」という学生の意見を踏まえ、「新卒採用の本音」と題するパネルディスカッションを第一部の企画内容としました。 パネラーとして面接官、人事担当およびリクルーターとして採用に関わりをもつ卒業生3名にお願いしました。
- ・続いて、第二部では、さらに詳しく話をしてみたい卒業生のところに集まって自由に話を聞く形の交流 会を25分単位で3回実施することにしました。

●今回の結果

- ・第一部のパネルディスカッションには29名(うちオンライン参加は6名)の学生が参加し、就活に関する質問に対するやりとりが活発に実施されました。
- ・第二部の交流会には計3回を通じて延べ62名の学生が交流しました。また、1人で別々の卒業生3人と話を聞いた学生が多く、OB・OG キャリアカフェの開催目的である「様々な仕事や働き方を知る機会を作る」という幅広い交流が実現されました。
- ・学生も卒業生も同じ「社会学類」という繋がりがあるせいか、これまでの OB・OG キャリアカフェよりも さらに親密かつ熱心にやりとりをしているように感じました。

●学生の感想

- ・社会学類の先輩から、就活・仕事のことを聞ける貴重な経験だった。
- ・まだまだ先だと思っていた就職に関心を持ち、また、危機感を得ることもできた。
- ・大学が開催する企業説明会よりもフラットで話しやすかった。
- ・就活に対する漠然な不安が解消された。
- ・就活の採用をしている方からの目線の話を聞くことができたのと、自分が今後どのような行動をすればいいのかがわかった。
- ・ネットでは知ることができない生の声を聞くことが出来た。
- ・大学の過ごし方を考える上でとても役立った。

●卒業生の感想

- ・在校生の方と直接話せることで、これから就活をしようとしている世代の方々の意識を感じることができた。
- ・学生と近い距離で交流ができ、学生からも活発な質疑があった。
- ・学生の悩みや考えを知ることができ、今後自分が業界のことを学生に説明する際の参考になった。
- ・在学生が熱心に話を聞いてくれたり、積極的に質問してくれたことで、自分の話が誰かの参考になっていると実感でき、非常に嬉しく思うとともに、普段の仕事では得られない刺激も得られ充実した時間を過ごせた。
- ・他の卒業生の先輩方のキャリアにも触れることができ、視野が広がる貴重な機会となった。自分自身 を見つめ直すきっかけにもなり、参加してよかったと感じた。



主催者挨拶→パネルディスカッション

交流会(1)



交流会(2)



集合写真(左端:明石学類長)



学生向けキャリア支援活動の協力お願い《常時募集中》

今後も学生の近いところで、状況に応じた各種の支援活動を継続して実施していきたいと思います。 そのためには、卒業生の皆さんのご協力が不可欠です。茗渓会では、以下の4つのイベントにご協力して いただける卒業生を常時募集しております。

- OB・OG キャリアカフェ(年 2 回)
- ② 就活/キャリアについてのぶっちゃけ質問会・相談会(月1回)
- ③ OB·OG 訪問(常時予約受付)
- ④ 社会人向け/学生向け 個別キャリア相談(常時予約受付)
- ・1つからの参加でも全てでも構いません。
- ・都度ご都合をお聞きいたしますので、無理のない範囲でご協力いただけます。
- ・企業、公務員、教員、起業家、フリーランスなど職業・職種等は問いません。
- ・各活動についての詳細については、上記①~④をクリックしてください。

ぜひ、皆さんもこの機会にお仲間に加わりませんか?

申し込み先はこちらから

本件の問い合わせ先:

一般社団法人 茗渓会キャリア支援事務局

mail:career@meikei.or.jp

tel:029-850-1044

(開所日:火,木,金 10~16 時)

以上